

11月1日は神崎市教育週間になっています。

毎年、神崎市は11月1日から7日を教育週間に設定し、フリー参観や教育講演会を行っています。今年度は、各校において授業参観を中心に行っています。

2学期の主な教育活動を紹介します。

1 大きな行事が無事に終わりました

9月は体育大会、10月は修学旅行、5年生による宿泊訓練と学校全体で取り組む行事がありましたが、どれも充実したものとなり、達成感を子ども達も職員も感じる事となりました。たくさんの保護者の方にも活躍ぶりを見ていただくこともでき、感動を与えることができました。

2 陰山メソッドが定着してきています

週3回 朝の時間に①音読 ②百マス計算 ③漢字 を15分間、全学年で取り組んでいます。その効果として、暗唱する力がつく、計算力がつく、漢字の習得率が上がるなどありますが、最大の効果は集中力がつくことです。今年から内容とやり方を全校統一して行っており、月に一度の計測の日も設け、3分切り、2分切りを個人で決めて目指しています。おむすびチームさんも協力してくださり、すっかり流れが定着しました。

3 給食試食会を実施しました

今年は、1年生の保護者の方のみで給食試食会を開催しました。20人ぐらいの方が参加し、子ども達の様子を参観したり、実際に味わっていただいたりしました。荒木栄養教諭から給食についての講話もいただきました。残さいが昨年度に比べ4分の1になっていることを紹介してもらいました。



4 はじめての学び事業（県まなび課主催事業）

笑菱会の皆様が学校に来てくださり、5、6年生を対象に落語の実演をしてくださいました。声のほり、演技など、圧倒されるばかりでした。少し落語は難しいのではと心配しましたが、笑い声が絶えない時間となり、楽しい時間となったようです。今年は、落語の出前講座は本校だけだということで、笑菱会の方はとても喜んで帰られました。

2 西部っ子暗唱発表会を行います

暗唱をこの半年間続けてきたことで、クラス全体で声をそろえることが上手になってきています。11月20日には、練習の成果を披露する発表会を行います。参観は、各家庭1名となっております。同じ題材を複数学年が暗唱するものもあります。

